

ふじしろ政夫

まさと お



県政を市民の手に！ 変えよう 県議会

県議会への挑戦 私の決意

毎年、1兆5000億円の予算で教育・福祉・医療・産業振興・道路建設等々600万人県民の生活のための県政が行われています。皆様満足していますか？

私たち鎌ヶ谷市民は県・市民税(県40%)を払っているのに、市政・国政ほどには目が届かない。こんなに県政・県議会の様子が見えなくていいのだろうか？更に森田県政になって、これまでの県民参加のタウンミーティング、NPOの育成、情報共有がなくなりつつあります。そして、県民が知らないうちに県の総合計画、教育振興基本計画が決められてしまっています。北総鉄道の4.9%値下げ合意、(鎌ヶ谷市は毎年900万円の補助金支出)も、密室・非公開、情報公開しない形で決定させられました。

“地域主権”“地方自治・市民自治”と言われています。私たち県民の声が通る県議会・県政にしなければ私たち県民の未来はありません。

鎌ヶ谷市の街づくりにおいても幹線道路(船取線、木下街道・464号)はすべて県の管理です。特別養護老人ホームへの事業補助も県議会の議決によって決まります。

ふじしろ政夫は“市政=県政”の視点で県議会へ挑戦します。市民自治の県政をつくっていきましょう。

「ふじしろ政夫」ってこんな人

船橋で生まれ育った生粋の千葉県人。鎌ヶ谷に住み着いて30余年になる。最初は二男一女の父親として平凡に暮らしていたが、下総基地の騒音問題に関わってから政治の世界に足を踏み入れた。

住民運動や市議会議員の後援会長として、諸問題の解決に向けての活動に取り組んだ。さらに不祥事で辞任した後を受けての市長選挙を、多くの市民と一緒に担ったことで、市民の力を結集することの大切さを学んだ。又、市の情報公開条例を使って、鎌ヶ谷の現状や、住民にとっての問題点を知っていくにつれ、それまでの活動の限界と物足りなさを感じて、自らが市議会議員になった。

今私たちにとって最も大切なことは、人間と自然を大切に政治です。特に市民自治や自然保護に関することに対して、熱心に取り組んでいる姿を目の当たりにして、その志の高さと将来への夢を感じます。議員としての資質を持っている人だと思えます。

性格は猪突猛進型で頑固者。信念を決して曲げない。しかし心根は優しく、誰とも分け隔てなく付き合う。そんなふじしろ政夫が常にこだわり続けているのが、情報の徹底的な公開と住民参加。それがより良い市民社会を築く上で最も大切なことではないでしょうか。とにかく良く勉強し行動する人です。県会議員になって、さらに成長するであろう姿を、鎌ヶ谷のために一生懸命に働く姿を、見たいと願っています。

ふじしろ政夫と共に市政を変える会 会長 田中 幹雄



◆がんばれ! ふじしろ政夫◆

清水聖士は、ふじしろ政夫さんを応援しています。鎌ヶ谷市がより良い街になるために、ふじしろさんに県政の場で思いっきり動いてくれるよう願っています。

清水 聖士 (鎌ヶ谷市長)

希望が見えない時代だからこそ、心優しい政治が必要です。混乱している社会だからこそ、コツコツと努力する誠実な政治家が求められるのです。一人一人に向き合い、決して揺らがない信念の人「ふじしろさん」に活躍を期待します。

上原 公子 (前国立市長)

県民不在が際立つ森田県政。不正経理も頻発しています。もうイエスマンの議員はいりません。不正に切り込み、きっちり行動する藤代政夫さんこそ、今の県議会に必要な人です。市民目線の実力派、藤代さんをぜひ県議会に送りだしてください。

大野 ひろみ (千葉県議会議員)

南に・干潟(三番瀬)が危ないと言え、保全を訴え。東に・北総線運賃、船取線歩道の危険の解決に取り組み、西に・高齢者の自殺対策、障がい者の自立などで活躍し、北の議会では・問題提起後必ずいつまでにと確認し…そういう人が「ふじしろ政夫さん」です。

牛込 哲三 (東道野辺)

今、議会では沢山の市民派と呼ばれる人がいますが、藤代さんは誠実で勉強家、有言実行の人。これからの時代を切り開いて、市民の負託に応える貴重な存在の人です。

佐藤良子 (新鎌ヶ谷)

ふじしろ政夫と共に県政・市政を変えよう

ふじしろ政夫と共に市政を変える会 ニュース

〒273-0122 鎌ヶ谷市東初高5-24-50

TEL.FAX 047-445-9144

E-メール:masao.fujishiro@zc.wakwak.com

ホームページ http://e-kamagaya.com/

NEWS
号外

鎌ヶ谷市の街づくりの場にも、鎌ヶ谷市民の声を代弁する役割を、
「市政=県政」の視点で、県議会・県政を市民の手に取り戻そう
と訴える、ふじしろ政夫の思いを届けてもらいました。(鎌ヶ谷)

ふじしろ政夫の4つの提言

1 地域福祉と教育

地域福祉と教育で、“安心・希望の未来”をつくります。教育・福祉・医療そして社会的セイフティネットです。新しい社会を、作りあげていくのがこれからの街づくりです。

- 高度医療と訪問診療で、誰もが安心できる地域医療をつくりあげよう。
- 教育格差を無くし、一人一人の子どもへの尊厳と自立に基づく教育を確立しよう。
- 子育て100%支援、寝たきり老人のいない介護福祉、就労・居宅・生活支援のセイフティネットを確立し、共生と分かち合いの社会をつくらう。
- 障がいのある人もない人も、あるがままに暮らしていける千葉県をつくらう。



2 環境

みどり豊かな里山・里海を保全・再生し、持続可能な“生物多様性の生態系ネットワークちば”をつくります。トンボもメダカもカエルもコウノトリも戻ってくる豊かな自然を...

- 豊かな自然に恵まれた千葉県の里山・里海を保全・再生し、緑と水と大気を守り、持続可能な生物多様性の生態系ネットワークをつくりあげよう。
- 三番瀬のラムサール条約登録の実現、盤洲干潟、鬼泪山の自然を守ろう。
- 勝浦の産業廃棄物施設をストップし、「産廃のゴミ捨て場千葉」を返上しよう。
- 低炭素の街づくりで地球温暖化対策の先進県を目指そう。



3 街づくり

農水産業・工業・流通産業の再構築と新たな福祉・教育・新エネルギー産業の振興で豊かで楽しい千葉県の街づくりをします。

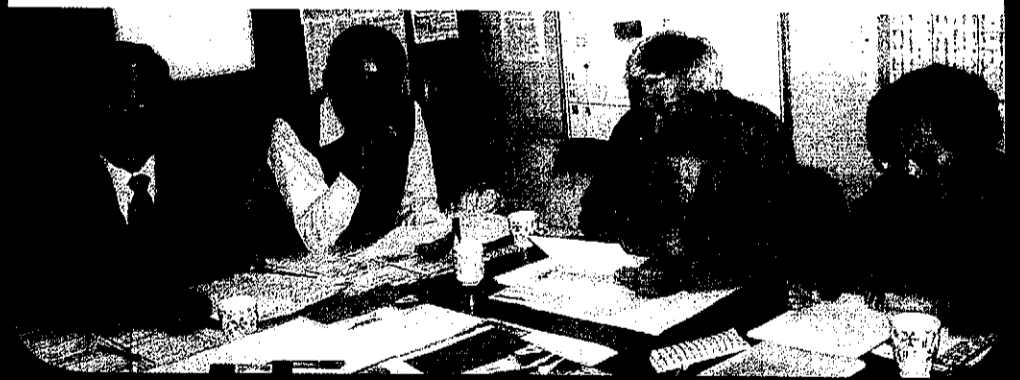
- 農水産業・工業・流通産業の再構築と新たな福祉・教育・新エネルギー産業の振興で、活気あふれる街づくりをしよう。生産消費一層進めよう。
- 住む人々にとって安全で快適な道路行政を目指し、歩道重視、サイクリングロード重視の政策を推進しよう。(安心して歩ける県道にします)
- 北総鉄道の運賃大幅値下げで北総台地の豊かな発展を実現しよう。
- 野馬土手サミットで小金牧・佐倉牧・嶺岡牧の地域の歴史と文化に光を当てよう。
- 「成田カジノ」構想には反対します。



4 市民参加と地方自治

「県政ってな～に？県議会は何してるの？」と市民が言います...市民にとって見えない県政は間違っています。私たちの手に政治を取り戻し希望の県政を作っていきます。

- 自治基本条例・議会基本条例を作って「県民が主役」の県政・県議会にしよう。
- 徹底的な情報公開と県民参加を実現し、不正経理体質・2兆6000億円の借金体質を直そう。
- 男女共同参画社会を作っていくことで少子化社会に歯止めをかけよう。
- ムダな公共事業(ハツ場ダム)をストップ、公が担う仕事、民が担う仕事を明らかにし「新しい公共」「公共サービス」を確立しよう。



「幸せの奪い合い」でなく「幸せの分かち合い、悲しみの分かち合い」の千葉県政を!

「勝った者は優れている、負けた者はその人の自己責任」といった社会を追い求め、“官から民へ”“競争至上主義”“構造改革”の結果が、今の世界的な大不況(格差と貧困)の状況です。

本来行政の行う“公共サービス”は「幸せの分かち合い・悲しみの分かち合い」であったはず、今こそ復権の必要があります。競争・自己決定の社会は働いても働いても貧しくなる、まさに「幸せの奪い合い」の世界です。こんな社会もうイヤダ!変えようと思ったからこそ、2009年8/30の政権交代があったのではないのでしょうか。病気になる時安心して受けられる地域医療・すべての子どもに教育の機会が与えられ経済格差が教育格差にならない社会・失業しても次の職につなげることでできる社会を求めたはずです。

市民・県民が自からの社会を“共助・分かち合いの社会”に変えていかない限り未来に希望はありません。

新エネルギー・医療・福祉・教育といった内需拡大につながる新たな産業を創っていくこと=悲しみの分かち合いの公共サービスを確立することによってのみ未来は開けます。

ふじしろ政夫は全力を尽くして県議会・県政を変えていきます。

ふじしろ政夫のプロフィール

- 1947年 船橋市に生まれる
- 1966年 安田学園卒業
- 1970年 慶應義塾大学法学部法律学科卒業
三井銀行に勤務の後、家業の藤代酒店を継ぐ
- 1980年 結婚を期に鎌ヶ谷に住む
- 1982年 下総基地の騒音問題に取り組み現在に至る(米軍艦載機夜間離着陸訓練反対運動)
- 2003年 鎌ヶ谷市市議会議員 初当選
※「捕込・野馬土手」地域の歴史と文化に光りをあてる。小金中野牧捕込が国指定史跡となる
- 2007年 鎌ヶ谷市市議会議員 2期当選
- 2008年 自主講座「市民自治」(福嶋浩彦) 運営世話人
※千葉県地方自治研究センター理事で活動

